

令和4年度

事業報告書

〔事業報告及び事業報告の附属明細書〕

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人大野町社会福祉協議会

はじめに

少子高齢化による人口減少が進行する中、社会構造や人々の暮らしの変化により住民が抱える福祉課題は複雑かつ多様化しています。加えて地縁・血縁といった地域の繋がりが弱まっている現状もあり、住民や地域の多様な主体が参画し、人と社会資源が世代や分野を超えて繋がり、時に支え合うことで、役割や生きがいのある暮らしや地域を共に創る「地域共生社会」の実現が求められています。

本会は、『「助けあい」「支えあい」で育む 笑顔あふれる おおの』を基本理念とした「大野町地域福祉活動計画」に基づき事業を実施しています。コロナ禍の影響は依然として受けつつも、事業規模の縮小や方法を見直すなど模索し、各事業を進めてまいりました。

法人本部部門における地域福祉の推進に向けた取り組みとしましては、区長並びに民生委員・児童委員、福祉委員が会した地域福祉懇談会を本年も地区ごとに開催し、地域で気になる人や物事に関する情報共有を行っています。その折には、把握した地域課題の解決や、見守り活動の重要性等を再認識する機運が高まり、その後も小地域単位での協議を重ねることで、新たな地域サロンが誕生しています。また、日常生活自立支援事業や生活福祉資金貸付事業の支援の過程では、行政・関係機関と連携した生活援助を継続して行うなど伴走型のサポートを行っているほか、食品ロス削減を目的に、住民から寄贈された食品を生活困窮にある方や子ども食堂等へマッチングを行い食糧支援の体制の整備を図っています。ボランティア活動への支援としては、誰もが気軽に参画できるよう「社協だより」で情報を発信し、住民の自発性を尊重し、誰もが気軽にボランティア活動へ参画できるよう図りました。

福祉施設運営について、高齢者支援部門の居宅介護支援事業と訪問介護事業におきましては、本人主体のケアプランの作成や、きめ細やかな介護サービスの提供に努めることで、住み慣れた自宅での暮らしが継続できるよう支援してまいりました。障がい者支援部門におきましては、様々な要因により変化する当事者のニーズに対し、関係機関との連携により地域社会において質の高い生活を維持できるよう支援してまいりました。子育て支援部門におきましては、十分な職員配置を行うことで、子どもの育ちを保障し、一人一人に寄り添う時間の確保や、支援が必要な園児に対して手厚い保育を提供しました。

令和4年度事業の状況は下記のとおりです。

法人本部拠点

体制：正職員4名、パート職員2名

財源：会費、寄附金、町補助金、町受託金

1 法人運営事業

事業費：予算額 39,332千円 決算額 37,546千円

(1) 運営体制の強化

令和3年度事業・決算報告、令和4年度補正予算、令和5年度事業計画・予算をはじめ、理事及び評議員の選任、運営規程改正等を審議した。

※新型コロナウイルスの影響により、理事会1回を書面決議により可決した。

【理事会・評議員会等開催及び出席状況】

会議名	議決日	議案	理事 (全9名)	評議員 (全15名)	監事 (全2名)	外部委員 (全2名)
理事会	令和4年6月6日(月)	6	8	—	2	—
評議員選任解任委員会	令和4年6月8日(水)	1	—	—	1	2
定時評議員会	令和4年6月24日(金)	3	—	14	2	—
理事会	令和4年6月24日(金)	2	9	—	2	—
理事会	令和4年9月30日(金)	3	書面	—	書面	—
理事会	令和4年12月15日(木)	5	8	—	2	—
評議員選任解任委員会	令和4年12月20日(火)	1	—	—	1	2
評議員会	令和4年12月23日(金)	2	—	12	2	—
理事会	令和5年3月13日(月)	10	8	—	2	—
評議員会	令和5年3月22日(水)	3	—	12	1	—

(2) 財政基盤の強化

「社協だより」等を通じて本会の役割を啓蒙し、広報委員のご協力により会員の拡充を図った。一般会費は広報委員を通じて各地区に協力を依頼し、法人会費については郵送にて、納付書による振込を依頼した。

【会費納入状況】

区分	一般会費	特別会費	法人(賛助) 会費	合計(口)	金額(円)	前年対比(%)
R4年度	6,565	1	123	6,689	3,899,500	99.1
R3年度	6,629	1	124	6,754	3,934,500	102.7
R2年度	6,621	1	104	6,726	3,832,500	98.9

1口：一般会費 500円／特別会費 2,000円／法人(賛助)会費 5,000円

【寄附金収入状況(法人全体)】

区分	件数	金額(円)	前年対比(%)
R4年度	8	378,435	38.0
R3年度	15	994,893	95.0
R2年度	10	1,046,990	449.7

【共同募金配分金額】

(単位：円)

区分	一般募金	歳末たすけあい	合計	前年対比(%)
R4年度	1,713,888	953,536	2,667,424	103.7
R3年度	1,600,356	972,109	2,572,465	123.2
R2年度	1,531,450	557,386	2,088,836	73.7

(3) 社会福祉功績者表彰式

福祉活動に対する協力者に対して感謝の意を表し、福祉のまちづくりをさらに推進することを目指し、社会福祉功績者表彰式を大野町表彰式典時に執り行った。

実施日：令和4年11月6日(日) 場所：町総合町民センター

区分	被表彰者	該当者(名)
表彰	福祉委員	6
	社会福祉団体役員	5
	ボランティア団体役員	
	社会福祉施設職員	9
	ボランティア団体活動員	1
	社会福祉協議会職員	6
感謝	金品寄附者	2



(4) 福祉用具貸与

介護保険対象外の高齢者、身体障がい者及び一時的に福祉用具が必要な方などに福祉用具の貸出を行った。

【貸与状況】

区分	所有数	貸出
車椅子	32	38
手動式ベッド	1	1

(5) 福祉団体等への活動支援

各種団体の自立的な活動を支援し、助成することにより社会福祉活動及び自主運営の促進を図った。

【助成概要】

交付団体	6団体
交付金額	1,059,700円

(6) 広報活動の充実

地域福祉活動に対する理解や、本会の各種事業への参加や理解を得られるように、広報委員の協力を得て「社協だより」を各世帯へ配布するとともに、ホームページを活用した情報提供を行った。

(7) 地域福祉活動計画に基づく福祉事業の推進

平成31年3月に策定した大野町地域福祉活動計画に基づき、地域における様々な福祉課題について町と連携を図りながら、目標に沿った事業の実施を行った。

(8) 法人後見事業

認知症、精神障がいまたは知的障がい等により意思決定が困難な方の判断能力を補い、生活医療・介護・福祉等の活用に向けた事務的支援や、利用者本人の財産を管理するための法的な手続き等に関する研修を受講し、援助に必要な体制を整えた。

・サービス利用者 実績なし

2 ボランティアセンター事業

財 源：会費

事業費：予算額 258千円 決算額 116千円

ボランティア活動への積極的な参加促進のため、広報活動を実施し、地域住民に向けた啓発を行った。また、ボランティア連絡協議会と連携を図り、ボランティアに関する情報提供など自主的な活動に繋がるよう相談や連絡調整等の支援を行った。

(1) 広報活動による啓発

「社協だより」に、ボランティア団体の活動紹介や会員募集を掲載し、地域住民がボランティア活動に関心を持てるよう意識啓発を図った。

(2) ボランティア支援

ボランティア活動を希望する住民に対し、電話などを利用してボランティア団体の紹介及び活動に関する相談援助や連絡調整を行い、地域住民の主体的な活動を支援した。

区分		相談	調整
ニーズ件数	個人	9	9
	団体等	2	2

(3) 災害ボランティアセンターの体制整備

大規模災害発生時に開設する災害ボランティアセンターの早期の設置及び円滑な運営を行うため、町内ボランティア団体及び県社会福祉協議会の協力のもと運営訓練を実施した。また、共同募金配分金を活用した資材の整備を行った。

【運営訓練】

実施日	令和5年1月28日（土）
参加団体	大垣青年会議所 みんなの防災ねっと 町赤十字奉仕団 災害ボランティア 町民生部福祉課 岐阜県社会福祉協議会 本会職員 他 計30名



(4) 個別避難計画作成事業

災害時に自力で避難することが難しい高齢者や障がい者等、一人一人の避難行動、誘導等を予め定めておく「個別避難計画」の作成について役場福祉課と連携し、民生委員・児童委員と福祉委員の合同研修会の場において周知を行った。

(5) ボランティア連絡協議会との連携

新型コロナウイルスの影響により、ボランティア活動が制限されたが、運営委員会開催を再開し、会員の活動状況の把握や本会事業の実施協力等の要請を行った。

登録団体数：13団体（299名）

【運営委員会】

実施日	令和4年8月3日（水）、18日（木）
協議内容	・各団体活動の近況報告 ・ふれあい広場の開催について

【活動支援】

団体名	概要
音訳の会そよかぜ	主な活動：広報おおの録音版作成 支援内容：活動用資材の助成
ニコニコ会	主な活動：ふれあい食事サービス（調理） 支援内容：活動検討会議の開催支援
おもちゃ病院「かき工房」	主な活動：おもちゃの修理 支援内容：受付窓口等

※ほか、社協だより掲載による活動状況紹介

(6) 共同募金街頭募金運動への協力

大野フェスタ・木育フェア会場にて、町内の小中学校児童生徒の協力を得て、募金活動を行った。

実施日	参加者(名)	募金額(円)
令和4年11月5日(土)、6日(日)	25	41,822

(7) ボランティア活動保険加入促進

町内のボランティア活動者の保険加入手続きを行った。なお、ボランティア連絡協議会会員には保険料の補助を行い、活動を支援した。

・保険加入者数：762名

3 生活福祉資金貸付事業

財 源：県社協受託金

事業費：予算額 739千円 決算額 737千円

岐阜県社会福祉協議会からの委託により、民生委員・児童委員と連携を取り、低所得者、障がい者及び高齢者に対し、資金貸付事務及び必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう相談援助を行った。また、新型コロナウイルスの影響による収入減少等の経済・生活不安を抱えた方に対する特例貸付事務を行った。また、償還免除に関する相談及び申請の支援を行った。

(単位：件)

区分	R4年度					R3年度	
	窓口相談	貸付決定	償還完了	免除決定	貸付中	窓口相談	貸付決定
本則	緊急小口資金	6	0	2	0	1	1
	総合支援資金	2	0	0	0	1	0
	福祉資金	2	0	0	0	2	0
	教育支援資金	1	0	1	0	2	0
特例	緊急小口資金	7	3	3	40	76	44
	総合支援資金(初回)	5	1	0	21	26	21
	総合支援資金(延長)	0	0	0	0	8	5
	総合支援資金(再貸付)	0	0	0	0	22	16
合計	23	4	6	61	138	92	85

4 心配ごと相談事業

財 源：会費、町補助金

事業費：予算額 210千円 決算額 174千円

(1) 心配ごと相談

民生委員・児童委員、人権擁護委員、行政相談員、弁護士に相談員として協力いただき、地域住民の日常生活での困りごとなどを対象とした相談所を開設した。

相談日	時間	場所	相談員
第1火曜日	午後1時～3時	町福祉センター	民生委員・児童委員、人権擁護委員
第2火曜日			民生委員・児童委員、行政相談委員
第4火曜日			弁護士

【相談内訳】

(単位：件)

区分	生計	職業	住宅	家族	離婚	健康	医療	人権	財産	事故	教育	福祉	苦情	その他	合計
R4年度	2	1	4	4	6	0	0	14	15	1	0	0	4	14	65
R3年度	1	1	5	1	2	0	0	9	18	0	0	1	0	16	54
R2年度	0	0	1	3	4	2	0	15	16	1	0	0	0	12	54

(2) 結婚相談所の開設

心配ごと相談日に、ぎふ広域結婚相談事業支援ネットワークと連携し、「大野町社会福祉協議会結婚相談所」を開設し、町内在住者の結婚相談支援を行った。

【対応件数】

(単位：件)

区分	相談	登録	閲覧
R4年度	3	1	0

(3) よろず相談事業

生活上の困りごとや心配ごとを受付や電話で聞き取り、悩み事に応じてサービスや相談窓口を案内するなどの調整を行ったほか、必要に応じて関連機関への情報提供等の支援を行った。

【対応件数】

(単位：件)

区分	対応内容				合計
	聞き取り	訪問	調整	その他	
R4年度	6	0	33	10	49

5 福祉サービス利用援助事業

財 源：県社協受託金

事業費：予算額 374千円 決算額 373千円

・日常生活自立支援事業

岐阜県社会福祉協議会からの委託により、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービスを、生活支援員と連携して支援を進めた。また、利用者の困りごとに対し、必要に応じ関連機関へつなぐ等、伴走型の支援を行った。

区分	人数
利用者	3名
生活支援員	1名

※ 内 施設入所 1名

【対応件数】

区分	対応内容		合計
	利用援助・金銭管理	生活の困り事	
R4年度	6	33	39

6 生活困窮者自立支援事業

財 源：県社協受託金

事業費：予算額 201千円 決算額 201千円

・生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の早期発見と自立支援に向けて、県福祉事務所・役場との連携により、包括的・継続的な支援を図れる体制を取った。

7 福祉推進事業

財 源：会費、町補助金

事業費：予算額 1, 466千円 決算額 1, 123千円

(1) 福祉委員活動の支援

各地区から推薦された124名の福祉委員の協力のもと、サロン活動等への参加等を通じた地域での関係づくりと見守り活動の推進を行った。また、民生委員・児童委員との懇談会や合同研修会、福祉委員代表者会議を開催し、委員同士の連携強化と民生委員・児童委員との情報共有等による活動支援を行った。

【会議等】

会議名	開催日	出席者
民生委員・児童委員 福祉委員 懇談会	令和4年4月8日(金)	民生委員・児童委員 地区役員 福祉委員地区代表 計14名
地区代表者会議	令和4年5月19日(木)	福祉委員地区代表 計4名
民生委員・児童委員 福祉委員合同研修会 (地域福祉懇談会を兼ねる)	第1地区：令和4年6月16日(木) 第2地区：令和4年6月21日(火) 第3地区：令和4年7月8日(金) 第4地区：令和4年6月29日(水) 第5地区：令和4年7月7日(木) 第6地区：令和4年7月6日(水)	民生委員・児童委員 主任児童委員 福祉委員 計113名
地区代表者会議	令和4年12月9日(金)	福祉委員地区代表 計5名



懇談会



合同研修会

(2) 小地域支え合い活動推進事業

地域の現状やひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等に関する情報共有を目的に、区長及び民生委員・児童委員、福祉委員が会した「地域福祉懇談会」を地区ごとに行った。

【地域福祉懇談会】

開催地区	開催日	参加者			合計 (名)
		区長	民生・児童委員 主任児童委員	福祉委員	
第1地区	令和4年6月16日(木)	7	6	16	29
第2地区	令和4年6月21日(火)	5	8	23	36
第3地区	令和4年7月8日(金)	6	5	11	22
第4地区	令和4年6月29日(水)	3	5	11	19
第5地区	令和4年7月7日(木)	6	3	7	16
第6地区	令和4年7月6日(水)	9	6	12	27

(3) カフェ活動支援事業

地域住民が気軽に立ち寄れる居場所として、カフェの立ち上げを支援し、新たに1カ所立ち上がった。また、モデル事業であるまちカフェは、ボランティアと協働のもと、「平和堂」と新たに「大野のわか」を会場に、開催場所を増やして実施した。

【まちカフェ開催状況】

会場	開催数	実施日	参加者数
平和堂	19回	第1・第3木曜日 午前10時～午後3時	362名
大野のわっか	19回	第2・第4木曜日 午前10時～正午	147名

(4) 集いの場における介護予防推進事業

サロン等の身近な集いの場において、気軽に参加できる介護予防体操の推進を目的に、運動指導者を派遣し、体力測定や体操の指導助言を行うことで住民が主体的かつ継続的に取り組めるよう支援した。

【実施状況】

実施月	実施力所	参加者数(名)
4月	3	61
5月	1	13
6月	3	59
10月	1	29
12月	2	23
合計	10	185



(5) 福祉教育の推進

町内小学校等へ出向き、車いす介助体験やアイマスク等の福祉教育資材を使用した疑似体験の場を提供することで、高齢者や障がいのある方への接し方や理解が深まるよう「福祉講座」を行った。

なお、夏休み期間を利用して開催していた、地域福祉の担い手となる小学5・6年生、中学生を対象にした災害や福祉について学ぶ「ボランティア・スクール」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止とした。

【講座概要】

場所	実施日	内容
中小学校	令和4年6月10日(金)	視覚障がい疑似体験
	令和4年11月11日(金)	車いす体験 高齢者疑似体験
西小学校	令和4年7月8日(金)	視覚障がい疑似体験
	令和4年11月18日(金)	車いす体験 高齢者疑似体験
北小学校	令和4年7月15日(金)	視覚・聴覚障がい疑似体験
	令和4年11月25日(金)	車いす体験 高齢者疑似体験
第2地区公民館	令和4年8月2日(火)	視覚障がい疑似体験 車いす体験

【R4実績】

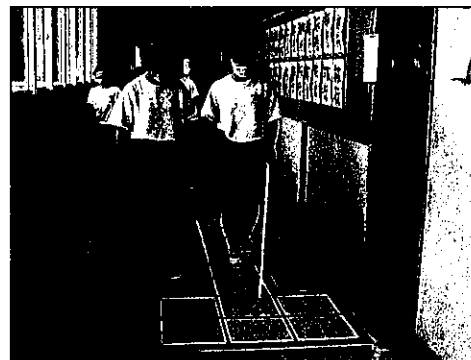
場所	対象者	参加者
中小学校	6年生	11
西小学校	6年生	21
北小学校	5年生	25
第2地区公民館	小3～5年生	9(2)

※ () 内は保護者数



【R3実績】

場所	対象者	参加者
大野小学校	5年生	59
南小学校	6年生	26
中小学校	6年生	30
東小学校	6年生	50



【R2実績】

場所	対象者	参加者
南小学校	6年生	43

【福祉教育資材貸出】

区分	貸出数	貸出資材
出前講座	7件	高齢者疑似体験セット、車いす、白杖、視覚障がい疑似体験セット、アイマスク、イヤードیفENDER
一般 (大野中学校分校)	1件	高齢者疑似体験セット、視覚障がい疑似体験セット、妊婦疑似体験セット

(6) 生活支援体制整備事業

高齢者等の生活を支援する体制を整備するため、地域のサロン等の集いの場に出向き、地域課題や住民主体の活動・資源の把握に努めた。また、揖斐郡生活支援コーディネーター会議や地区支えあいの会等に出席し、情報共有を行い活動に活かした。

【活動概要】

内 容	サロン立上げ支援(稼働準備、助言等)、民生委員福祉委員連絡会、生活支援団体支援・ケア会議等出席(地域課題の把握、情報提供)
活動件数	279 件

① 生活支援サービス活動団体支援事業

在宅での生活者に軽微な福祉サービスを提供する、住民参加型地域生活支援サービス活動団体の活動が定着できるよう、補完的な支援を実施した。

【助成概要】

交付団体	2団体
交付金額	679,350円

【支援状況】

団体名	支援内容
くらし応援隊ちよいサポ	団体活動調整会議・困難事例検討会議等の開催 計20回 (利用者及びサポーター活動支援等)
豊木団地V T会	活動保険助成等

【研修概要】

研修名	生活支援サービス活動団体サポータースキルアップ研修
実施日	令和4年9月14日(水)
場 所	町総合町民センター
講 師	株式会社シルバーウッド(サービス付き高齢者住宅運営会社)
内 容	・VRによる認知症疑似体験 ・当事者インタビュー視聴及びグループディスカッション
参加者	20名

② 地区支えあい活動支援事業

介護予防・生活支援に資する地域での支えあい活動を推進する団体として、「大野町第6地区

「支えあいの会」に対し、活動に係る費用の助成等を行った。

【助成概要】

交付団体	1団体
交付金額	50,000円

(7) 安心カード普及継続支援事業

ひとり暮らしの高齢者など、要支援者の迅速な救急活動につながる「安心カード」を民生委員・児童委員と連携し、地域での普及に努めた。

・延べ登録人数：2,914名

8 共同募金配分金事業

地域から寄せられた共同募金及び歳末たすけあい募金の配分を受け、支えあう地域づくりを目指した交流事業やサロン活動などの事業に活用した。

(1) 一般募金配分金事業 財源：共同募金配分金

事業費：予算額 2,848千円 決算額 1,714千円

① 福祉のふれあい広場

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

② ふれあい食事サービス「ニコちゃん弁当」

80歳以上のひとり暮らしで見守りが必要な方を対象に、ボランティア団体「ニコニコ会」による手作り弁当を届け、「食の支援」と「安否確認」を行った。民生委員・児童委員、福祉委員の協力を得て利用者にお届けすることで、地域での支えあいと見守り活動を推進した。（7月、9月については、弁当に代えてお菓子・飲み物を配達した。）

【配達】

区分	R4年度	R3年度	R2年度
利用申込者	89名	80名	76名
実施回数	11回	6回	コロナにより 中止
配食数	873食	534食	
配達・調理ボランティア	416名	262名	

【講習会】

実施日	令和4年7月12日（火）
内容	「高齢者の食生活について～フレイル予防～」
参加者	22名

【絵手紙】

ふれあい食事サービスのお弁当に、サロンで作成された季節の絵手紙を添えて配達することで、閉じこもり気味になっている高齢者の精神的な緩和を図った。

実施月	令和4年11月22日（火）
協力	百までサロン、藤の花サロン参加者 （講師：藤田涼子氏）

③ バースデー記念品贈呈事業

町内在住の95歳、100歳の誕生日を迎える方へ、ご長寿のお祝いとして、もみじの里の利用者が自主製品と町内製品を梱包した記念品をお届けした。

年齢	該当者
100歳	5名
95歳	28名

④「社協だより」発行事業

隔月で「社協だより」を発行し、社会福祉協議会に対する理解の向上と住民の福祉活動への参加促進に努めた。

⑤ 地域の居場所づくり活動継続事業

地域のつながり、見守りの場として期待される住民主体のサロンやカフェの活動が、継続していけるよう活動内容の相談、講師派遣、感染予防・レク用具等の貸出を行った。

【地域の居場所】

区分		件数	備考
社協登録	まちカフェ	2	全地区対象(2)
	ふれあいいいききサロン	23	全地区対象(1)、1区(3)、2区(7)、3区(6)、4区(2)、5区(2)、6区(2)
	施設カフェ	3	※認知症カフェ 桜坂、ぎふ愛の里、セントケアおおの
独自	独自サロン(地域カフェ)	10	全地区対象(2)、黒野東・南区(3)、上秋区(1)、瀬古区(1)、中之元(1)、大い妻区(1)、本庄区(1)
	子どもの集い場	2	さなぎの杜、子ども食堂「紙ひこうき」
合計		40	

【ふれあいいいききサロン】

区分	登録ヶ所	登録者数	延開催数	備考
R4年度	23	559	195	2ヶ所休止中
R3年度	22	508	131	3ヶ所休止中
R2年度	20	579	76	6ヶ所休止中

【補助金交付】

ふれあいいいききサロン及び施設で実施する認知症カフェに対し、開催予定月に応じて月額1,500円の補助金を交付した。

区分	件数	金額	
ふれあいいいききサロン	21	209回	313,500円
施設カフェ	3	27回	40,500円
合計	24	236回	354,000円

【サロン保険加入】

ふれあいいいききサロンの登録人数、活動日数に応じた保険加入の手続きと保険料の負担を行い活動中の怪我等に対応した。

区分	件数	金額	
ふれあいいいききサロン	21	4,184日	54,392円

【講師等派遣】

ふれあいいいききサロン活動者から、講師等派遣の相談を受け派遣依頼の調整を行った。

区分	件数	備考
音楽療法	10	音楽療法士
健康づくり	9	介護施設職員
栄養管理	9	栄養士、保健師等
生活安全	5	消費者センター等
防災	2	ボランティア団体
娯楽(観賞)	24	住民ボランティア



⑥ 地域の居場所づくり活動支援事業（立上げ支援）

【居場所づくり】

福祉委員会や地域福祉懇談会等からあがった地域課題の解決につなげるため、サロン等の立ち上げに向けた相談・協議や既存サロンの視察調整等の支援を行った。

区分	概要
ふれあいいいきサロン	第3地区：稲富(日合塚)区 3回、稲富(南組)区 2回 第4地区：瀬古区 1回 第5地区：島部区 1回 第6地区：五之里区 2回 計5ヶ所、9回
障がい児・者の集いの場	全地区対象、1ヶ所

※令和5年度より新規のサロン等が計6ヶ所本格稼働

【代表者交流会】

既存サロン・カフェの代表者とサロンの立上げを検討している代表者との交流の機会をつくり、情報交換等を行った。

実施日	令和4年12月6日(火)
場 所	大野町役場 2階 大会議室
内 容	活動状況等の情報交換（グループワーク） 地域の居場所づくり活動に対する支援について
参加者数	・サロン(14ヶ所) 15名、地域カフェ(2ヶ所) 2名 ・サロン立上げ検討者(1地区) 2名 ・子どもの居場所づくり支援団体(2団体) 2名 計21名

⑦ 安心・安全のまちづくり活動支援事業

赤い羽根共同募金を活用し、災害時の通信機器やテント等の災害ボランティアセンター運営に必要な資材の整備を行った。

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業

財 源：共同募金配分金

事業費：予算額 1,413千円 決算額 953千円

① 在宅援護事業

新たな年を迎える時期に支援を必要とする方や福祉施設へ見舞金等の配布を行った。

対象	対象数	金額	備考
要介護4・5 該当者	39	117,000円	商工会商品券
身体障がい者手帳所持者	25	75,000円	〃
療育・精神手帳所持者	23	69,000円	〃
要支援世帯	1	3,000円	〃
福祉施設	5	70,000円	見舞金

② 高齢者交流事業【新春お弁当配達】

新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、食事会から配食へ変更し実施した。70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、民生委員・児童委員、主任児童委員及び福祉委員の協力を得てお弁当を配達し、配達時にあいさつを交わすことで、地域のひとり暮らしの高齢者の状況把握とその後の支援につながるきっかけづくりを行った。

地区	対象者数
第1地区	70
第2地区	58
第3地区	44
第4地区	42
第5地区	28
第6地区	16
合計	258

配達協力者	人数
民生委員・児童委員	36
主任児童委員	2
福祉委員	104
合計	142

③ 障がい者交流事業

コロナ禍の影響を受け障がい者間や、地域住民との交流会は中止とした。それに代えてもみじの里にて障がい者間の親睦を深めることを目的として、町内にあるワッフル専門店の協力を得てお菓子作り体験教室を開催した。

実施日	令和5年1月21日
場 所	就労支援センターもみじの里
内 容	ワッフル・クレープづくり体験教室
参加者数	7名

④ 貸出用具整備事業

サロン活動や地域行事等に使用するレクリエーション用具や車椅子、新型コロナウイルス対策用具として活用するパーティション、手指消毒液等を整備し、要望に応じて貸し出しを行った。

貸出先	地域サロン、ボランティア団体、自治会、公民館等
件数	80件

高齢者支援拠点

財 源：介護保険事業収入、障害福祉サービス事業収入、町受託金
事業費：予算額 30,249千円 決算額 27,671千円

9 介護事業

(1) 訪問介護事業

体 制：正職員2名、パート職員2名

① 訪問介護事業

【事業の概要】

・介護予防訪問介護事業

総合事業における要支援1又は要支援2の認定を受けた方を対象に、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるように、要介護状態になることをできる限り予防することを目的とし、本人が出来ることはできる限り本人が行うことを基本として、掃除や買い物等の生活援助を行った。

・訪問介護事業

介護保険に基づく要介護1から要介護5の認定を受けた方を対象に、利用者及びその家族の状態、希望を踏まえてサービス計画を作成すると共に、在宅生活に対する支援として、食事介助、排泄援助等の介護や、掃除、通院介助等の援助を介護職員の訪問により実施した。

【介護度別の利用者実人数】

(単位：名)

サービス内容区分	介護予防訪問介護			訪問介護					合計
	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
実人数	0	1	6	2	6	4	1	0	20

【月別のサービス提供状況】

区分	介護予防訪問介護		訪問介護		利用者 実人数合計 (名)	提供 延回数合計 (回)
	利用者 実人数(名)	提供 延回数(回)	利用者 実人数(名)	提供 延回数(回)		
R4目標数値	90	160	250	3,540	340	3,700
4月	7	38	13	221	20	259
5月	7	42	14	222	21	264
6月	8	46	15	245	23	291
7月	8	44	15	204	23	248
8月	8	49	15	231	23	280
9月	8	45	14	199	22	244
10月	8	44	12	168	20	212
11月	7	43	14	180	21	223
12月	7	38	14	152	21	190
1月	8	40	14	164	22	204
2月	9	46	16	197	25	243
3月	7	46	14	284	21	330
R4年度計	92	521	170	2,467	262	2,988
R3年度計	91	512	233	3,331	324	3,843
R2年度計	72	492	225	2,543	297	3,035

② 障害福祉サービス事業

ア. 居宅介護・重度訪問介護サービス

【事業の概要】

障害者総合支援法に基づき障がい者宅へ介護職員が訪問し、在宅生活に必要な食事・掃除援助や、排泄・入浴など身体介護を提供すると共に、生活に関する相談や助言など生活全般にわたる援助を実施した。

【月別のサービス提供状況】

区分	利用者実人数(名)	身体介護延回数(回)	家事援助延回数(回)	提供延回数合計(回)
R4目標数値	90	180	1,140	1,320
4月	8	27	60	87
5月	9	22	75	97
6月	10	29	75	104
7月	10	24	67	91
8月	10	20	64	84
9月	9	23	57	80
10月	9	20	73	93
11月	9	20	73	93
12月	9	15	67	82
1月	9	11	69	80
2月	9	17	64	81
3月	9	14	65	79
R4年度計	110	242	809	1,051
R3年度計	73	102	780	882
R2年度計	82	108	1,088	1,196

イ. 移動支援サービス

【事業の概要】

単独で外出することが困難な障がい者を対象に、日常生活に必要な外出及び余暇活動や社会参加の為の外出をする際に、安全に外出できるように介護職員が同行し必要な支援を行った。

【月別利用状況】

区分	利用人数(名)	利用回数(回)
R4目標数値	50	80
4月	3	6
5月	3	7
6月	3	5
7月	4	6
8月	3	6
9月	3	7
10月	3	7
11月	3	6
12月	3	7
1月	3	7
2月	3	6
3月	3	7
R4年度計	37	77
R3年度計	28	54
R2年度計	24	51

③ 軽度生活援助事業

【事業の概要】

在宅のひとり暮らしの高齢者等に対して、自立した生活の継続を可能にするとともに要介護状態への進行を防止する為、軽易な日常生活上の援助に必要な体制を整えた。

・サービス利用者 実績なし

(2) 居宅介護支援事業 体制：正職員2名、嘱託・パート職員2名

【事業の概要】

介護保険に基づく認定を受けた方を対象に、介護支援専門員が介護サービスの利用を希望された方の心身の状態や、環境、意向、更にはご家族の要望を踏まえた居宅サービス計画を作成し、利用者が安心してサービスを利用できるように関連機関やサービス提供事業所との連絡調整を実施した。

【介護度別の利用者実人数】

(単位：名)

サービス内容区分	介護予防支援			居宅介護支援					合計
	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
実人数(名)	1	3	19	20	18	8	7	3	79

【月別のサービス提供状況】

(単位：件)

区分	計画数		合計
	介護予防支援	居宅介護支援	
R4目標数値	300	900	1,200
4月	22	60	82
5月	22	60	82
6月	23	59	82
7月	25	59	84
8月	25	59	84
9月	26	58	84
10月	24	56	80
11月	25	58	83
12月	24	54	78
1月	24	52	76
2月	22	56	78
3月	23	56	79
R4年度計	285	687	972
R3年度計	261	746	1,007
R2年度計	240	770	1,010

障がい者支援拠点

財 源：障害福祉サービス事業収入、就労支援事業収入、町受託金
事業費：予算額 36,682千円 決算額 32,789千円

10 障がい者支援事業

(1) 就労継続支援事業

体 制：正職員2名、嘱託・パート職員5名

① 本部事業

【事業の概要】

利用者及びご家族のニーズに応じて策定した個別支援計画に基づき、就労に必要な知識・能力の向上の為に訓練、支援を行った。また、社会参加支援として、社会性の獲得や豊かな生活づくりへつながる事を目的として、交流事業を開催した。

【月別の利用者数（1日の受入定員20人）】

(単位：名)

区分	R4年度				合計 利用者数	R3年度	R2年度
	知的 障がい	身体 障がい	精神 障がい	知的障がい 身体障がい		合計 利用者数	合計 利用者数
	R4目標数値				240	—	—
4月	7	3	12	1	23	21	21
5月	7	3	13	1	24	21	20
6月	7	4	13	1	25	21	20
7月	6	4	13	1	24	21	20
8月	6	3	13	1	23	22	20
9月	6	3	13	1	23	23	21
10月	6	3	13	1	23	23	21
11月	6	3	13	1	23	23	21
12月	6	3	13	1	23	23	22
1月	6	3	13	1	23	23	22
2月	6	3	13	1	23	23	22
3月	6	3	13	1	23	23	22
合計	75	38	155	12	280	267	252

② 受託事業

各企業からの受託作業を行った。

企業名	作業内容
ハローバッグ	紙袋の二次加工
大鹿印刷所	箱折・袋詰め・シール貼り等
コーセーフーズ	箱詰め・封入
緑門	茶の実の選別
太陽紙工株式会社	祭壇の二次加工
古田製作所	ラベル貼り
いび川農業協同組合	コインランドリー清掃

【事業別収入】

(単位：円)

区分	R4目標数値	R4年度	R3年度	R2年度
ハローバッグ	600,000	697,357	567,991	409,152
まちカフェ	0	0	1,000	0
大鹿印刷所	600,000	599,535	323,982	117,314
コーセーフーズ	120,000	133,803	138,270	285,371
いび川農協	300,000	310,000	308,000	236,000
古田製作所	0	19,240	0	0
緑門	60,000	83,740	42,230	70,330
岐阜クリエイト	0	0	25,080	26,076
大野町健康課	0	0	0	70,000
大野町福祉課	0	0	40,000	90,000
社会福祉協議会	54,000	54,000	0	0
合計	1,734,000	1,897,675	1,446,553	1,304,243

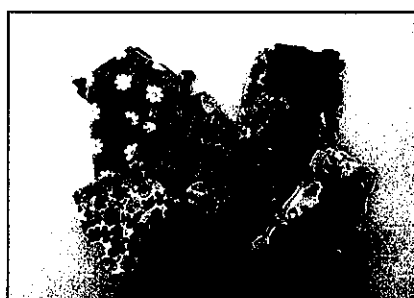
③ 自主製品販売事業

ボカシ・小物（編み物、縫製、木工等）の製作、販売を行った。

製品	販売所
ぼかし 小物製品	就労支援センターもみじの里 ルート303グリーンハウス よってみーな大野 よってみーないび バラまつり・大野フェスタ・木育フェア（出店）

【製品別収入】

区分	R4目標数値	R4年度	R3年度	R2年度
ぼかし	168,000	113,200	109,800	94,200
小物	901,000	534,320	348,100	334,050
合計	1,069,000	647,520	457,900	428,250



【月別の平均工賃】

受託・自主製品販売収入より生産活動に必要な経費を引いた額を工賃として支払った。

(単位：円)

区分	平均工賃
4月	8,676
5月	4,311
6月	7,253
7月	7,766
8月	7,605
9月	7,827
10月	5,517
11月	7,727
12月	8,038
1月	10,259
2月	14,663
3月	12,280
最高	18,445
最低	31

区分	平均工賃
夏季賞与	7,076
冬季賞与	14,409
年度末賞与	30,219
最高	59,154
最低	12

【年度別】

区分	平均工賃
R4年度	12,556
R3年度	9,582
R2年度	7,069

※月当たりの工賃最低額、賞与の最低工賃額は、月1回程度の通所利用者

(2) 相談支援事業 体制：正職員2名

① 一般相談支援事業

【事業の概要】

大野町から地域生活支援事業に基づく相談支援事業の委託を受け、障がい者・児の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい者・児やその家族、地域住民、各関係機関からの相談に応じた。福祉サービスの利用に関する助言や不安の解消に関する相談等を行い、各関係機関と連携を取りながら情報提供、情報共有を行う中で、特定相談支援事業・障害児相談支援事業（障害福祉サービスの利用）への移行に繋げる等、障がい者・児が地域で安心して暮らせるよう支援した。また、町内で暮らす障がいのある方により良い支援の提供と、障がいがあっても暮らしやすい大野町の実現のため、障がい者支援関係者のネットワークの構築を行い、相談の質の向上を図った。

【利用している障がい者・児の人数】

(単位：名)

区分	知的障がい		身体障がい		精神障がい		その他		合計利用者数
	者	児	者	児	者	児	者	児	
R4年度	12	0	8	0	12	1	0	0	33
R3年度	11	1	7	0	15	0	2	3	39
R2年度	6	5	7	1	26	0	1	2	48

【支援方法】

(単位：名)

区分	訪問	来所	同行	電話	メール	ケース会議	関係機関	その他	合計
R4年度	35	5	6	59	3	11	120	13	252
R3年度	18	9	5	75	7	8	111	6	239
R2年度	8	17	1	119	11	7	127	2	292

【支援内容】

(単位：件)

支援内容	相談数		
	R4年度	R3年度	R2年度
目標数値	300	400	300
福祉サービスの利用に関する支援	121	43	55
障害や症状の理解に関する支援	1	0	0
健康医療に関する支援	45	49	100
不安の解消・情緒安定に関する支援	9	25	13
保育・教育に関する支援	5	13	4
家族関係・人間関係に関する支援	19	32	40
家計・経済に関する支援	13	25	15
生活技術に関する支援	16	16	26
就労に関する支援	10	18	37
社会参加・余暇活動に関する支援	0	1	0
権利擁護に関する支援	0	0	0
その他	13	17	2
合計	252	239	292

② 特定相談支援事業

【事業の概要】

障がい者の抱える課題に対して、適切なサービスが提供できるよう計画を作成し、ひとりひとりのニーズに合わせたサービスが継続して利用できているか、また新たな課題はないか等、定期的にモニタリングを行うことで柔軟な対応を行った。

また、家族支援が必要な相談も増えてきており、関係機関との連携を図りながら迅速な対応を心掛け取り組んだ。

【サービス利用支援・サービス継続利用支援実施状況】

(単位：件)

	サービス利用支援 (利用計画作成)	サービス継続利用支援 (モニタリング) ※加算含	合計
R4目標数値	85	167	252
R4年度	87	142	229
R3年度	83	90	173
R2年度	74	117	191

【障がい種別・市町村・契約者数】

(単位：名)

	大野町	池田町	揖斐川町	神戸町	瑞穂市	契約者数
身体障がい	14	1	2	0	0	17
知的障がい	22	2	4	1	1	30
精神障がい	29	3	1	0	0	33
難病	0	0	0	0	0	0
R4年度計	65	6	7	1	1	80
R3年度計	58	8	9	1	1	77
R2年度計	65	6	9	2	1	83

③ 障害児相談支援事業

【事業の概要】

障がいのある児童が障害児通所支援（児童発達支援や放課後等デイサービス等）の利用をする為の、障害児支援利用計画の作成やモニタリングを定期的に行った。町外からの相談件数も多く、関係機関との連携を図りながら迅速な対応を心掛け取り組んだ。

【サービス利用支援件数・サービス継続利用支援実施状況】 (単位：件)

	サービス利用支援 (利用計画作成)	サービス継続利用支援 (モニタリング)	合計
R4目標数値	128	175	303
R4年度	129	102	231
R3年度	133	88	221
R2年度	109	112	221

【障がい種別・市町村・契約者数】 (単位：名)

	大野町	池田町	揖斐川町	本巣市	契約者数
身体障がい	0	0	0	1	1
知的障がい	14	7	5	0	26
精神障がい	6	4	1	0	11
難病	3	0	0	0	3
その他	78	2	1	0	81
R4年度計	101	13	7	1	122
R3年度計	97	21	10	1	129
R2年度計	101	20	9	2	132

子育て支援拠点

財 源：保育事業収入、町補助金収入

事業費：予算額 128,236千円 決算額 126,738千円

11 東さくらこども園事業

(1) 東さくらこども園事業

体 制：正職員10名、パート職員18名

【事業の概要】

保育を必要とする子を預かり、「生きる力を育む教育・保育～自己決定の出来る子に～」を保育理念として、通園する子の最善の利益を考慮しながら、就学前の人間形成の中で一番大事な時を自ら考え、決定し実行出来る子の育成を目指した。また、教育・保育の質の向上を図るため、自己評価を行った。

【特別な保育事業】

名称	内 容
障がい児保育	障がいを持った子に適したきめ細やかな保育
延長保育	午前7時～午後7時までの保育
乳児保育	生後3ヶ月からの0歳児保育
一時保育	保護者の傷病等による緊急時の一時的な保育
体育教育	楽しみながら運動能力を伸ばす教育
英語教育	楽しみながら英語に親しむ教育
情操教育	わらべうた遊びなど伝承を用いた情緒を豊かにする教育



【月別の通園者数】

(単位：名)

区分	R4年度							R3年度	R2年度
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	月計		
R4目標数値	60	180	200	240	360	360	1,400	1,460	1,584
4月	1	11	12	19	27	33	103	125	133
5月	1	11	11	18	27	33	101	125	131
6月	3	11	11	18	27	33	103	126	131
7月	4	11	12	18	27	33	105	126	136
8月	4	11	14	19	27	33	108	126	136
9月	4	12	15	18	27	33	109	130	138
10月	6	12	17	18	27	33	113	131	138
11月	6	12	17	17	27	33	112	130	138
12月	6	12	16	17	27	33	111	130	138
1月	6	12	16	17	27	33	111	130	138
2月	6	12	17	18	27	33	113	128	138
3月	6	12	17	18	27	33	113	128	138
合計	53	139	175	215	324	396	1,302	1,535	1,633

(2) 子育て支援センター事業 体制：パート職員4名

【事業の概要】

乳幼児を持つ親が安心して相談できる場作りを行うと共に、親の孤立感を和らげ育児不安や育児の負担の軽減を図るため、子育ての情報提供や子育てサークル等への支援を通して安心して子育てができるよう推進した。

(単位：名)

名称	実施日	内容	R4年度			R3年度	R2年度
			利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
わくわく教室	毎週水曜日	年齢に合った体操や遊びを行った	113	78	79		
すくすく教室	毎週金曜日	行事や講師による遊びなどで親子の触れ合いを行った	272	179	10		
のびのび教室	毎週木曜日	講師による英語教室やドレミ遊び、発育測定の際の育児相談を行った	98	84	88		
プレママ教室	令和4年12月20日(火) 令和4年12月21日(水)	妊婦または出産後の母親向けに、助産師との相談や子育て情報の提供、アドバイスをした	6	9	—		
子育て支援ネットワーク	毎月第4木曜日 (面談)	専門家による面談・相談で育児不安の軽減を図った	23	30	14		
子育てサロン	令和4年6月24日(金) 令和4年12月5日(金)	第一公民館を利用し、親子で触れ合って遊び会を行った	20	18	28		
メール配信	週1回・随時	携帯電話に支援センターの予定や子育て情報を配信した	—	—	—		
園庭開放	月曜日～金曜日 午前9時30分～午後3時	園庭・支援室の開放を行った (人数制限)	179	490	641		
サークル活動	毎週火曜日	母親の自主的なサークル活動を推進した	31	54	12		

出前教室	1～2回／月	第一公民館で出前保育を行った	80	95	59
子育て通信	1回／月	毎月の活動計画や子育て情報を掲載した通信を配布した	—	—	—

12 その他の事業

(1) 岐阜県共同募金会事業

共同募金事業の推進を図るため、社会福祉活動を支える重要な財源であるという趣旨の周知を行い、募金運動を展開した。

期 間	令和4年10月1日～12月31日		
募金額 (円)	戸別募金	3,281,000	広報委員へ依頼 依頼文書発送による口座振込
	法人募金	412,000	
	その他	190,026	赤い羽根協力店等での募金
	合 計	3,883,026	

※募金運動期間後の募金額を含む

(2) 日本赤十字社事業

日本赤十字社事業を推進するため社資を募集し、交付金にて献血事業支援、災害救援、奉仕団活動支援など、地域福祉に関する事業を行った。

期 間	令和4年5月1日～6月19日	
募金額 (円)	一般社資	3,269,000
	法人社資	180,000
	合 計	3,449,000

(3) 災害義援金募集事業

災害における義援金の募集受付を行い、日本赤十字社岐阜県支部へ送金した。

【日本赤十字社岐阜県支部】

義援金名	募金額 (円)
ウクライナ人道危機救援金	90,708
トルコ・シリア地震救援金	61,024
合 計	151,732

(4) 大野町戦没者追悼式

遺族会との共催により戦没者追悼式を、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、規模を縮小して開催した。

実 施 日	令和4年9月28日(水)
場 所	町総合町民センター 多目的ホール
参加者数	13名